

カフェオープンまでの道のりを
教えてください

子連れカフェをやる！と決めてから、自宅のある龍ヶ崎市内で物件探しをはじめましたが、家賃が高かったり、なかなか条件に合うところがなくて行き詰まっていたとき、たまたま知り合いから、利根町のチャレンジショップの話聞いて、ちょうど次の出店者を募集しているというので、すぐに応募しました。

チャレンジショップでの出店が決まったからは、「木の温もりがたっぷりのお店」を目指して、主人と一緒にDIYで内装づくりをはじめました。

裸足でくつろげる小上がり席は絶対にほしいと思っていたので、コンクリートだった床にパレットを並べて木目調のクッションフロアを貼って、想像以上に

素敵な小上がり席をつくることができました。
SNSを見て来店されるお客様も多いそうですね

物件探しをしている段階からInstagramを開設していて、決意表明の意味合いも込めて「子連れカフェやります！」と宣言して、物件探しの途中経過や試作中のメニューなどを投稿していました。

チャレンジショップ出店が正式に決まったからは、主人が内装をDIYしているところや、オープン準備の様子をちょこちょこ投稿していたら、いろんな方からコメントや応援メッセージを頂けるようになって、ありがたいことに、6月1日のオープン前から、たくさん予約を頂くことができました。



飲食スペースには、木のおもちゃや絵本など、子どもたちを飽きさせない工夫が随所に。目の届く距離で、子どもたちが遊べるスペースは利用者に好評。壁際にある木製の飾り棚もご主人の手作り

ママとc cafeをはじめてみた
感想を教えてください

お店が、住宅街の中にあって、決して分かりやすいとは言えない場所なのに、毎日たくさんのお客が集まってくれるのは、私がそうだったように、「子ども以外の誰かと話したい。育児のしんどさを緩和したい。人が作った手料理が食べたい。子どもと一緒に、気兼ねなく楽しく外食がしたい。」など、子育て世代のママたちの心の叫び、気持ちの表れなんだと思います。

カフェを始めると決めたものの、最初は不安だらけでした。でも今思えば、あの時の自分を信じてよかった。ママとc cafeをはじめて、本当に良かったと実感しています。

最近では、Instagramを見たという方が、わざわざ水戸市や鹿嶋市などから来てくれたり、ベビーマッサージ、親子英語、絵本セラピー、カイロプラクティック、無制限遊びなど、異業種の方々と繋がりが出て、店内でコラボイベントも開催できるようになり、とても励みになっています。

お店のこだわりを教えてください

店名は、主人と話し合って「ママと子」にゆっくり食事を楽しんでもらいたい。という願いを込めて、そのまま「ママとc cafe」に決めました。もちろん、パパも大歓迎です(笑)

カフェをやるといっても、人より料理が得意なわけでもないし、飲食店で働いた経験もない私の料理を誰か食べてくれるのか、という思いはありましたけど、周りの人たちの意見やアドバイスを聞きながら、自分なりに「こんなメニューがあったらいいな」をカタチにしています。人気のスパイスカレーは、何回も試作して友人や知人に何度も試食してもらって、やっと納得のいく味になりました。副菜などは、普段から作っている料理の中から、安定して出せる味、クオリティーのものに絞っています。

キッズメニューもあるので、食材には、なるべく無添加のものや地元産の野菜などを使うようにして、安心安全な料理が提供できるように心がけています。

利根町の印象を教えてください

正直、利根町は自宅の龍ヶ崎から千葉県へ行くときに通過しているだけの町でした(笑)でも、今回、こういふ縁があって、利根町でカフェをはじめてみて感じたのは、とにかく街中が綺麗なこととです。

いつ見てもゴミは落ちていないし、公園の芝刈りも頻繁に行われている。この商店会も草取りや、お花の植え替えが頻繁にされています。

地域や商店会の方々もとても親切で、うちの子どものことも、自分の孫のように可愛がってくれて、「通えば通うほど好きな町、利根町」という印象です。

これからの展望を聞かせてください

今は、ママとc cafeの経営をしながら、利根町が主催している起業塾にも参加して、経営の基本を学んでいるところで、町役場の皆さんのサポートもとても心強く感じています。

チャレンジショップに出店できる期間は限られているので、この貴重な時間を無駄にしないように、色々とチャレンジしていきたいです。

この店は、私やスタッフ、お客さん、関わってくれているたくさんの方の思いが詰まった場所になっていくと思います。ママやパパが、周りの目を気にし過ぎず、子どもたちをのびのびと遊ばせてあげられる。ママとc cafeが、そんな場所になったら嬉しいです。



1. コンクリートだった床にパレットを並べ、コンパネとクッションフロアを貼って小上がり席をDIY 2. 試作を繰り返して完成したスパイスカレーは、一番人気のメニュー。地元産の野菜をふんだんに使っていて食べ応えも十分 3. 隣接する風の公園で行われた「無制限遊び」は、主催する方とSNSで繋がり実現したコラボイベント。米粉や寒天など、口に入れても安全な素材でできた絵の具を使って、自由に遊ぶ。「ダメは言わない。できるだけ口を出さない」が約束

ママとc cafe

住所：利根町布川 2115-105
利根ニュータウン商店会
とねまち0→1BASE 1階

電話：070-1304-4459
営業時間：月・火・金・土
10:00～14:00

ママとc cafe
Instagram
お席の予約はDMから

オープン後、SNSを中心に口コミが広がり、今では町内外から多くの来客がある「ママとc cafe」。利用者からは、「こんなカフェがほしかった」、「子連れには嬉しいお店」など、多くの声が聞かれています。

自身も3歳の男の子と1歳の女の子、二人のお子さんを持つ黒澤さん。このカフェの人気の理由は、育児真っ最中の彼女だからこそできる、親子の気持ちに寄り添ったサービス、ついつい長居したくなる木の温もりたっぷりの店内。そして何より穏やかで明るい黒澤さんの人柄にあるようです。

「ママとc cafeのコンセプトに共感してくれるママたちがいる限り、『ママと子』のためにできることを模索して活動していきますので、気になった方は、ぜひ一度覗いてみてください。」という黒澤さん。

アットホームな癒しの空間「ママとc cafe」ぜひ一度足を運んでみてください。